

元気な人紹介



惜しまれつつ退職されたお巡りさん 第2の人生をこの町で

世羅町大字黒川 入君 英喜 さん

入君さんは、小国の敬老会では、「振り込め詐欺」などの劇を演出、自ら駐在役で出演。赤いジャンパーの「見守り隊」を結成し、地域の皆さんと一人暮らしのお年寄りの家庭を巡回するなど、地域に密着した活動は、親しまれるお巡りさんとして、小国駐在所に7年半在籍され今年3月に惜しまれつつ退職された。

入君さんの出身は庄原市総領町。高校卒業後、広島中央署警察官に採用されパトカー勤務から、県内各地を転動された。警察官勤務42年間を振り返ってどうですかと聞くと、最初のパトカー勤務は、自分の意思に関係なく、日夜呼び出され気が休まることはなかったと話される。

世羅では、ある程度自由に企画し行動できる楽しみがあった。野菜作りなどを始めてからは、お百姓さんと気軽に親しみをもって話せるようになった。また、地域の保育所や小中学校の行事に呼んでいただくのが楽しみで、当時の保育所の子は中学1年生、この子たちの成長も楽しみにされているそうだ。

退職後は、黒川地区に田と山林付き古民家を購入され、荒れた農地を70a整備された。出来たお米と野菜は、広島市内や地元

で販売されている。

作物は何を作っているのですかと聞いてびっくり、サツマイモ11種、トマト8種、なす5種、きゅうり2種他、ピーマン、唐辛子などにお米。少量多品目栽培が面白いそうだ。

将来は、子どもたちと一緒に土に触れ野菜を採ったり料理して食べたい。また、母屋を改装し薪ストーブを置き山林を整備した薪で暖をとりたい。人生は1回、地域の皆さんと楽しく過ごしたいと夢を話された。



福田 義人

表紙紹介



伝統の廿日えびす、今年にわかコンテストが開催された。演題は「国定忠治決闘シーン」でにわか最後は落ちがつく。

この時代に成人病があったかどうか。決闘の最中に腹痛を起こした忠治。決闘Ⅱ血糖が高いとアピール。会場の笑いを誘った。

編集後記

猛暑に悩まされた夏が過ぎ、世羅台地にさわやかな風が吹き始め、秋の気配を感じられる頃となりました。先日フルーツ王国せら高原まつりには多くの観光客が来られ、おいしい秋の味覚を満喫されていました。平成24年度決算を審査、認定しました。財政状況はおおむね安定しているようです。

合併10周年に向けてより希望の持てる町となるよう今後も貴重な財源の使途については議会としてチェックする重要性を痛感しました。改選から一年、今の議会はみなさんの目にどのような形で映っているでしょうか。

(米重典子)

議会広報広聴
調査特別委員会

委員長／下原 嘉雄
副委員長／福田 義人
委員／田谷 幸奏・岡田 武士
米重 典子・新原 浩

議会を傍聴してみませんか
次回の定例会は12月です

日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。